



9/7 学生のデザインがまつりグッズに!

「てだこポケットフェスタ〜第49回浦添てだこまつり〜」の開催に向け、市内にある専修学校インターナショナルデザインアカデミーの学生が考えた、タオルデザインのWEB投票が行われました。8作品(2,193票)の中から山城舞夏さんのデザイン(678票)が見事選ばれ、商品化されました。タオルは、今年のまつりのテーマである「和」を意識し、人とのつながりや交流の広がりをイメージしたデザインとなっています。

山城さんは「学校に入ってこのような賞をいただいたのが初めてですごく嬉しいです。たくさんの人に見てもらい、気に入ってもらえることにすごくワクワクしています」と商品化への喜びを笑顔で話しました。



9/7 牧港漁港に寄付型自動販売機を設置

牧港漁港内にある建設現場(株式会社内間土建)の事務所前で、寄付型自動販売機の設置式が行われました。この自動販売機の寄附ボタン(60円と30円)を押すと、その金額が浦添市母子寡婦福祉会を通して、ひとり親家庭の支援に活用されます。

浦添市母子寡婦福祉会の亀谷会長は、「今回の寄付金を通して子ども達とお母さんの支援に繋げるのが私たちの願いです。ぜひ多くの人にご利用いただきたいです。」と呼びかけました。皆さまの温かいご協力をお願いします。なお、浦添市母子会では、この寄付型自動販売機を置いていただける支援者も募集しております。お問い合わせは090-1942-5940(母子会事務局)まで。



8/24 浦添トラック組合と災害時の協定締結

浦添市は浦添地域トラック事業協同組合と「災害時における物資等の緊急輸送に関する協定」を締結しました。本協定は、災害時における物資の迅速かつ円滑な輸送体制を確立するためのものです。

締結式で、組合の具志堅代表は「災害時にはトラック事業者ならではの機動力が地域の力となる。これまで以上に地域の安心安全に寄与していきたい」と意欲を示しました。これに対し、比嘉副市長は「行政が不足しがちな輸送力を補完できる心強い協定。市の防災力向上へ連携を深めたい」と述べました。



9/4 宮城ドリームズ 九州大会で堂々の3位!

今年7月に福岡県で開催された、第20回嘉麻の里杯争奪九州選抜少年軟式野球大会に沖縄から出場し、3位に入賞した宮城ドリームズが、大会の結果報告のため市長を表敬訪問しました。

キャプテンの川上奨斗さん(宮城小6年)は「監督やコーチ、支えてくれた家族のおかげで3位をとることができました」と感謝の言葉を述べました。日頃の練習にほとんどの選手が休まず参加しているとの報告に、市長は「コツコツは勝つコツ。これからも野球も勉強もコツコツ頑張ってください」と選手たちの努力を称え、激励しました。



笑顔いっぱい!広報うらそえ800号賞品!!

2026年8月号で「広報うらそえ」は記念すべき800号を迎えました。市内企業さまの多大なるご協力のもと実現した読者プレゼント企画へのご応募とアンケートへのご回答、誠にありがとうございました!

5241件の応募の中から厳正なる抽選のもと、見事に当選された皆さまへ賞品を受け渡しました。窓口を訪れた当選者からは「まさか自分が当たるなんて!」や「夢のような当選です!」と歓喜と満面の笑みが見られました。また、惜しくも落選となった皆さまもご参加いただきありがとうございました。

アンケートの声は今後の広報誌づくりに活かしてまいります。これからも広報うらそえよろしくお願いします!



8/3 津波発生時に備える合同避難図上訓練

西海岸地域での津波発生を想定した、合同避難図上訓練がキャンプ・キンザーで行われました。

この図上訓練は、津波発生時の高台避難や円滑な避難経路確保のため実施されています。今回は浦添市と在沖海兵隊、キャンプ・キンザー基地で、津波が発生した際の、基地内を通行・活用した住民の避難経路や避難所設置などについて確認しました。

また、津波災害時の被害を最小限に抑えるために、基地内の態勢や、対応行動について互いの認識や意見を交わし、秋に行われる実働訓練に向けての意見交換を行いました。



8/1 体験して学ぶ!! 防災・お天気教室

市と沖縄気象台が共催した「防災・お天気教室」が市役所9階にて開催され、計160人が参加しました。

会場では、気象・防災・救命・地理それぞれの専門知識を持ち寄った各機関のブースが並び、気象実験や地震シミュレーション、命を守る心肺蘇生体験などの体験コーナーが充実しました。

本イベントの参加者アンケートでは、満足度が5点満点中4.6点と高く、参加した子ども達からは「実験などが面白くて、また来たい」などの声が寄せられました。

子ども達の自然科学への興味を育みながら、自分の身を守るための防災知識を楽しく学ぶ機会となりました。